

## 介護職員初任者研修カリキュラム

事業者名 社会福祉法人クオラ研修事業の名称 介護職員初任者研修

1 職務の理解（6時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
① 多様なサービスの理解	3時間	(1) 介護保険制度の意義 (2) 介護保険制度の下での介護 (3) 介護の意義
② 介護職の仕事内容や働く現場の理解	3時間	(1) 多様なサービスと介護職の仕事 (2) キャリアパスの資格取得要件 (3) 事業所等における OJT・off-JT
合計	6	
2 介護における尊厳の保持・自立支援（9時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
① 人権と尊厳を支える介護	6時間	(1) 人権と尊厳の保持 (2) ICF（国際生活機能分類） (3) QOL（生活の質） (4) ノーマライゼーション (5) 虐待予防・身体拘束禁止 (6) 個人の権利を守る制度の概要
② 自立に向けた介護	3時間	(1) 自立支援 (2) 介護予防
合計	9	

3 介護の基本（6時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
① 介護職の役割、専門性と多職種との連携	2時間	(1) 介護環境の特徴 (2) 介護の専門性 (3) 介護にかかわる職種
② 介護職の職業倫理	1時間	(1) 介護職の職業倫理
③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント	2時間	(1) 介護における安全の確保 (2) 事故予防, 安全対策 (3) 緊急時に必要な知識と対応方法 (4) 感染症対策
④ 介護職の安全	1時間	(1) 介護職の心身の健康管理
合計	6	

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（9時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
① 介護保険制度	3時間	(1) 介護保険制度創設の背景と目的・動向 (2) 介護保険制度の仕組みと基礎的理解 (3) 介護保険制度の財源, 組織・団体の機能と役割 (4) 医療保険制度の概要 (5) 年金保険制度の概要
② 医療との連携とリハビリテーション	4時間	(1) 高齢者の服薬と留意点 (2) 経管栄養, 吸引, 吸入, 浣腸など (3) 健康チェック (4) 訪問看護 (5) リハビリテーション医療の意義と役割 (6) リハビリテーション医療の過程 (7) 訪問・通所・地域リハビリテーション
③ 障害者総合支援制度及びその他制度	2時間	(1) 制度創設の理念・背景と目的 (2) 制度の仕組みと基礎的理解 (3) 個人の権利を守る制度の概要
合計	9	

5 介護におけるコミュニケーション技術（6時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
① 介護におけるコミュニケーション	3時間	(1) コミュニケーションの意義と目的, 役割 (2) コミュニケーションの手段と技法 (3) 利用者・家族への対応の基礎知識 (4) 利用者・家族への対応の実際 (5) 利用者の状況・状態に応じた対応
② 介護におけるチームのコミュニケーション	3時間	(1) 記録による情報の共有化 (2) 報告・連絡・相談 (3) コミュニケーションを促す環境
合計	6	
6 老化の理解（6時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
① 老化に伴うところとからだの変化と日常	3時間	(1) 老年期の発達と心身の変化の特徴 (2) 心身の機能の変化と日常生活への影響
② 高齢者と健康	3時間	(1) 高齢者の疾病（老年症候群）と生活上の留意点（外科系） (2) 高齢者に多い病気と生活上の留意点（内科系） (3)
合計	6	

7 認知症の理解(6時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
① 認知症を取り巻く状況	1時間	(1) 認知症ケアの理念
② 医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理	2時間	(1) 認知症の概念と原因疾患・病態 (2) 原因疾患別ケアのポイントと健康管理
③ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	2時間	(1) 生活障害, 心理・行動の特徴 (2) 利用者への対応
④ 家族への支援	1時間	(1) 家族との関わり方
合計	6	
8 障害の理解(3時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
① 障害の基礎的理解	1時間	(1) 障害の概念と I C F (障害者福祉の基本理念)
② 障害の医学的側面, 生活障害, 心理・行動の特徴, かかわり支援等の基礎知識	1時間	(1) 肢体不自由(身体障害), 内部障害, 視覚障害・聴覚障害・音声・言語・咀嚼機能障害, 精神障害, 統合失調症, 躁うつ病等, 神経症性障害(神経症), アルコール依存症, 知的障害, 発達障害, ダウン症, 高次脳機能障害
③ 家族の心理, かかわり支援の理解	1時間	(1) 家族の心理・かかわり支援
合計	3	

9 こころとからだのしくみと生活支援技術（75 時間）			
基本知識の学習	項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
	① 介護の基本的な考え方	2 時間	(1) 介護の基本的な考え方
	② 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	2 時間	(1) 学習と記憶に関する基礎知識 (2) 感情と意欲に関する基礎知識 (3) 自己概念と生きがい (4) 老化や障害を受け入れる適応行動と阻害要因
	③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	6 時間	(1) 健康チェックとバイタルサイン (2) 骨・関節・筋肉に関する基礎知識 (3) 中枢神経系と体性神経に関する基礎知識 (4) 自律神経と内部器官に関する基礎知識
生活支援技術の講義・演習	④ 生活と食事	4 時間	(1) 生活と家事 (2) 家事援助の基礎知識と生活支援 ※実技演習 2 時間
	⑤ 快適な住環境整備と介護	4 時間	(1) 快適な居住環境に関する基礎知識 (2) 介護保険による住宅改修 (3) 福祉用具に関する基礎知識 ※実技演習 2 時間
	⑥ 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6 時間	(1) 整容に関する基礎知識 (2) 整容の支援技術 ※実技演習 4 時間
	⑦ 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	7 時間	(1) 移動・移乗に関する基礎知識 (2) 移動・移乗のための用具と活用方法 (3) 負担の少ない移動・移乗と支援方法 (4) 移動と社会参加の留意点と支援 ※実技演習 4 時間
	⑧ 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6 時間	(1) 食事に関する基礎知識 (2) 食事環境の整備と用具の活用方法 (3) 楽しい食事を阻害する要因と支援方法 (4) 食事と社会参加の留意点と支援 ※実技演習 3 時間
	⑨ 入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6 時間	(1) 入浴と清潔保持に関する基礎知識 (2) 入浴と整容の用具の活用方法 (3) 楽しい入浴を阻害する要因と支援方法 ※実技演習 3 時間

	⑩ 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6 時間	(1) 排泄に関する基礎知識 (2) 排泄環境の整備と用具の活用方法 (3) 爽快な排泄を阻害する要因と支援方法 ※実技演習 3 時間
	⑪ 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	2 時間	(1) 睡眠に関する基礎知識 (2) 睡眠環境と用具の活用方法 (3) 快い睡眠を阻害する要因と支援方法 ※実技演習 1 時間
	⑫ 死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護	2 時間	(1) 終末期に関する基礎知識 (2) 生から死への過程とところの理解 (3) 苦痛の少ない死への支援と多職種との連携 ※実技演習 1 時間
生活支援技術演習	⑬ 介護過程の基礎的理解	4 時間	(1) 科学的思考と介護過程 (2) 介護過程の展開に必要な構成要素
	⑭ 総合生活支援技術演習	6 時間	(1) 事例による展開 (2) 衣服の着脱の介助, 移動の介助, 食事の介助, 入浴の介助, (3) 排泄の介助
実習		12 時間	
	合計	75	
10 振り返り ( 時間)			
	項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
	① 振り返り	3 時間	(1) 研修を通じて学んだこと, 今後継続して学ぶべきこと, 根拠に基づく介護についての要点 (利用者の状態像に応じた介護と介護過程, 身体・心理・社会面を総合的に理解するための知識の重要性, チームアプローチの重要性等)
	② 就業への備えと研修終了後における継続的な研修	1 時間	(1) 継続的に学ぶべきこと, 研修終了後における継続的な研修について, 具体的にイメージできるような事業所等における実例 (off-JT, OJT) を紹介
	合計	4	
全カリキュラム合計時間		130 時間	

※規定時間数以上のカリキュラムを組んでもかまわない。

※本研修で独自に追加した科目には、科目名の前に「追加」と表示すること。